



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月9日

上場会社名 関西ペイント株式会社 上場取引所 東
コード番号 4613 URL <https://www.kansai.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 毛利 訓士
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 最高財務責任者 (氏名) 富岡 崇 TEL 06-7178-5531
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	442,418	△0.5	39,021	△0.6	45,387	8.6	29,982	△8.9
2025年3月期第3四半期	444,752	5.3	39,247	△5.2	41,795	△5.4	32,917	△39.0

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 31,229百万円(△26.8%) 2025年3月期第3四半期 42,656百万円(△31.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	170.21	140.75
2025年3月期第3四半期	170.13	143.03

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	786,321	364,614	36.4
2025年3月期	750,699	350,009	35.9

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 285,846百万円 2025年3月期 269,189百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	22.00	—	28.00	50.00
2026年3月期	—	55.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	590,000	0.2	51,000	△2.0	55,000	12.0	34,000	△11.2	193.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年3月期3Q	177,976,280株	2025年3月期	177,976,280株
2026年3月期3Q	1,909,147株	2025年3月期	1,753,087株
2026年3月期3Q	176,147,799株	2025年3月期3Q	193,489,562株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報の注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当期における世界経済は、緩やかな回復基調がみられたものの、地政学的リスクの高まりや米国の通商政策などにより、先行きについては不透明な状況が続きました。このような状況下、わが国経済は、個人消費や設備投資に持ち直しの動きがみられ、全体としては緩やかな回復が続きました。インドにおいては、財政、金融政策の両面で景気が下支えされ、個人消費と設備投資を中心とした内需主導の堅調な成長が続きました。欧州においては、個人消費を中心に景気は底堅さを維持するものの、米国との関税政策の影響により輸出が減速、生産活動を下押ししました。中国においては、米中間の通商問題や不動産市場の停滞などを背景に景気は足踏み状態となりました。

当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は4,424億18百万円（前年同期比0.5%減）となりました。営業利益は、販売価格改善や原価低減などの施策を推進したものの、固定費の増加などにより、390億21百万円（前年同期比0.6%減）となりました。経常利益は為替差益の増加などにより、453億87百万円（前年同期比8.6%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年に計上されていた一過性の特別利益の影響がなくなったことから、299億82百万円（前年同期比8.9%減）となりました。

各セグメントの状況は以下のとおりであります。

《日本》

自動車分野では、自動車生産台数は前年を下回ったものの、販売価格の改善に取り組んだことにより、売上高は前年を上回りました。工業分野も拡張活動の成果により、売上高は前年を上回りました。一方、建築及び防食分野では、市況低調の影響により売上高は前年を下回りました。船舶分野は、引き続き堅調であるものの、足元の需要が前年を下回る水準で推移したことにより、売上高は前年を下回りました。セグメント利益は、主に自動車及び工業分野で前年を上回った一方、建築及び船舶分野で前年を下回ったことから、全体では前年を下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は1,218億76百万円（前年同期2.0%減）、セグメント利益は172億10百万円（前年同期比1.0%減）となりました。

《インド》

建築分野では、市場全体の需要低迷や低価格品へのシフトにより売上高は前年を下回りました。自動車分野では、減税影響もあり自動車生産台数が増加し売上高は前年を上回りましたが、円高による為替換算の影響により、インド全体の売上高は前年を下回りました。セグメント利益は、減収に加えて人件費等の増加も影響し、前年を下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は1,046億54百万円（前年同期比4.8%減）、セグメント利益は107億43百万円（前年同期比7.5%減）となりました。

《欧州》

トルコでは、主要顧客の自動車生産台数が前年を上回ったものの、トルコリラ安による為替換算の影響により売上高は前年を下回りました。その他欧州各国においては、前年に行ったボルトオン型M&Aの寄与もあり、売上高が前年を上回った結果、欧州全体の売上高は前年を上回りました。セグメント利益は、原材料価格が安定して推移したことに加え、持分法による投資損失が改善したことにより、前年を上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は1,223億76百万円（前年同期比3.5%増）、セグメント利益は13億14百万円（前年同期は97百万円）となりました。

《アジア》

中国においては、自動車生産台数は前年を上回り、売上高は前年を上回りました。一方で、タイ、マレーシア及びインドネシアでは、自動車生産台数減少の影響を受け、アジア全体の売上高は前年を下回りました。セグメント利益は、トータルコスト削減に努め、収益性が改善したことにより、前年を上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は503億43百万円（前年同期比1.1%減）、セグメント利益は81億26百万円（前年同期比7.2%増）となりました。

《アフリカ》

南アフリカ及び近隣諸国は、政情不安が続く中にあっても、建築分野において新規顧客の獲得の寄与もあり、売上高は前年を上回りました。東アフリカ地域では、主力の建築分野に加え、工業分野においても売上高は堅調に推移しました。セグメント利益は、建築分野の事業拡大や構造改革の進展により、前年を上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は363億54百万円(前年同期比8.3%増)、セグメント利益は40億48百万円(前年同期比43.9%増)となりました。

《その他》

北米では、自動車生産台数が前年を下回り、売上高は前年を下回りました。セグメント利益については、減収の影響に加え、持分法による投資利益も減少したことなどにより、前年を下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は68億13百万円(前年同期比13.2%減)、セグメント利益は14億93百万円(前年同期比46.9%減)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

① 流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産合計は、3,764億35百万円(前連結会計年度末比209億5百万円増)となりました。流動資産の増加は、現金及び預金などが減少したものの、受取手形、売掛金及び契約資産、有価証券などが増加したことによるものであります。

② 固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産合計は、4,098億85百万円(前連結会計年度末比147億16百万円増)となりました。固定資産の増加は、主に有形固定資産や投資その他の資産が増加したことによるものであります。

③ 流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債合計は、1,992億27百万円(前連結会計年度末比221億77百万円増)となりました。流動負債の増加は、主にその他流動負債、短期借入金、短期社債などが増加したことによるものであります。

④ 固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債合計は、2,224億79百万円(前連結会計年度末比11億59百万円減)となりました。固定負債の減少は、退職給付に係る負債が増加したものの、その他固定負債などが減少したことによるものであります。

⑤ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、3,646億14百万円(前連結会計年度末比146億4百万円増)となりました。純資産の増加は、為替換算調整勘定などが減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことや、その他有価証券評価差額金などが増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、2025年11月7日発表の2026年3月期通期連結業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	76,656	70,523
受取手形、売掛金及び契約資産	120,858	143,682
有価証券	32,489	37,422
商品及び製品	59,053	58,011
仕掛品	8,642	8,653
原材料及び貯蔵品	44,233	43,338
その他	19,588	20,714
貸倒引当金	△5,992	△5,909
流動資産合計	355,530	376,435
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	76,498	80,782
その他（純額）	107,300	113,888
有形固定資産合計	183,798	194,670
無形固定資産		
のれん	35,711	33,200
その他	44,811	46,722
無形固定資産合計	80,522	79,922
投資その他の資産		
投資有価証券	57,907	60,738
その他	78,207	79,986
貸倒引当金	△5,267	△5,433
投資その他の資産合計	130,847	135,292
固定資産合計	395,168	409,885
資産合計	750,699	786,321

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	85,218	86,502
短期借入金	11,895	17,681
短期社債	31,985	34,972
未払法人税等	5,348	6,143
賞与引当金	5,932	4,491
その他	36,668	49,434
流動負債合計	177,049	199,227
固定負債		
社債	60,000	60,000
転換社債型新株予約権付社債	100,472	100,382
退職給付に係る負債	7,331	8,526
その他	55,835	53,570
固定負債合計	223,639	222,479
負債合計	400,689	421,707
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,658	25,658
資本剰余金	18,343	18,378
利益剰余金	186,659	203,136
自己株式	△2,101	△2,535
株主資本合計	228,560	244,637
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,451	17,641
繰延ヘッジ損益	△0	△1
為替換算調整勘定	19,615	15,769
退職給付に係る調整累計額	8,562	7,799
その他の包括利益累計額合計	40,628	41,208
新株予約権	224	266
非支配株主持分	80,595	78,501
純資産合計	350,009	364,614
負債純資産合計	750,699	786,321

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	444,752	442,418
売上原価	304,417	299,046
売上総利益	140,335	143,371
販売費及び一般管理費	101,088	104,350
営業利益	39,247	39,021
営業外収益		
受取利息	1,166	1,415
受取配当金	653	542
持分法による投資利益	3,042	3,916
為替差益	1,056	4,720
雑収入	2,172	2,157
営業外収益合計	8,092	12,752
営業外費用		
支払利息	2,195	2,057
棚卸資産廃棄損	156	355
正味貨幣持高に係る損失	2,020	2,874
雑支出	1,171	1,098
営業外費用合計	5,544	6,386
経常利益	41,795	45,387
特別利益		
固定資産売却益	12,092	5,004
減損損失戻入益	188	—
投資有価証券売却益	2,869	1,632
関係会社清算益	—	199
特別利益合計	15,150	6,836
特別損失		
固定資産除売却損	54	308
減損損失	—	724
投資有価証券評価損	0	—
関係会社株式売却損	56	216
早期割増退職金	4	1,859
退職給付制度改定損	—	627
特別損失合計	115	3,736
税金等調整前四半期純利益	56,830	48,487
法人税等	17,536	16,131
四半期純利益	39,294	32,356
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,376	2,374
親会社株主に帰属する四半期純利益	32,917	29,982

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	39,294	32,356
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,620	1,636
繰延ヘッジ損益	△2	△1
為替換算調整勘定	5,585	△3,919
退職給付に係る調整額	△706	△762
持分法適用会社に対する持分相当額	1,106	1,920
その他の包括利益合計	3,362	△1,126
四半期包括利益	42,656	31,229
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	35,405	30,562
非支配株主に係る四半期包括利益	7,250	666

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	15,014百万円	16,526百万円
のれんの償却額	3,866	3,942

(セグメント情報の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	日本	インド	欧州	アジア	アフリカ	計				
売上高										
(1) 外部顧客への売上高	124,358	109,887	118,209	50,880	33,568	436,905	7,847	444,752	—	444,752
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	11,171	88	174	2,283	144	13,862	—	13,862	△13,862	—
計	135,530	109,976	118,383	53,164	33,713	450,768	7,847	458,615	△13,862	444,752
営業利益	16,259	11,732	2,446	4,874	2,663	37,975	1,271	39,247	0	39,247
持分法投資利益又は 損失(△)	1,119	△123	△2,349	2,709	149	1,504	1,537	3,042	—	3,042
セグメント利益	17,378	11,608	97	7,583	2,812	39,480	2,809	42,289	0	42,289

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、アメリカ・メキシコ等の現地法人の事業活動を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益に持分法による投資損益を加減した金額と調整を行っております。
4. 日本以外の各セグメントに属する主な国または地域
インド……インド、バングラデシュ、ネパール等
欧州……スロベニア、トルコ、オーストリア等
アジア……インドネシア、タイ、中国等
アフリカ……南アフリカ、ウガンダ、ジンバブエ等

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	日本	インド	欧州	アジア	アフリカ	計				
売上高										
(1) 外部顧客への売上高	121,876	104,654	122,376	50,343	36,354	435,604	6,813	442,418	—	442,418
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	11,801	71	151	2,242	79	14,345	—	14,345	△14,345	—
計	133,677	104,726	122,527	52,585	36,433	449,949	6,813	456,763	△14,345	442,418
営業利益	15,968	10,803	2,517	5,215	3,943	38,449	570	39,019	2	39,021
持分法投資利益又は 損失(△)	1,242	△60	△1,202	2,910	104	2,993	922	3,916	—	3,916
セグメント利益	17,210	10,743	1,314	8,126	4,048	41,443	1,493	42,936	2	42,938

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、アメリカ・メキシコ等の現地法人の事業活動を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益に持分法による投資損益を加減した金額と調整を行っております。

4. 日本以外の各セグメントに属する主な国または地域
インド……インド、バングラデシュ、ネパール等
欧州……スロベニア、トルコ、オーストリア等
アジア……インドネシア、タイ、中国等
アフリカ……南アフリカ、ウガンダ、ジンバブエ等